



2026年3月期 決算資料



## ◆ 決算報告 〈2026年3月期〉

**ABホテル株式会社** 代表取締役社長 沓名 一樹

[www.ab-hotel.jp](http://www.ab-hotel.jp)



## I.会社概要

◆ 会社概要

---

## II.沿革

◆ 沿革

---

## III.2026年3月期実績

◆ 2026年3月期実績

---

## IV.2027年3月期計画 ・中期経営計画

◆ 2027年3月期計画・中期経営計画

◆ 店舗・客室数推移

---

## V.取り組み事項

◆ SDGsの対応（脱炭素社会を目指して）

◆ 新たなニーズに対しての提供

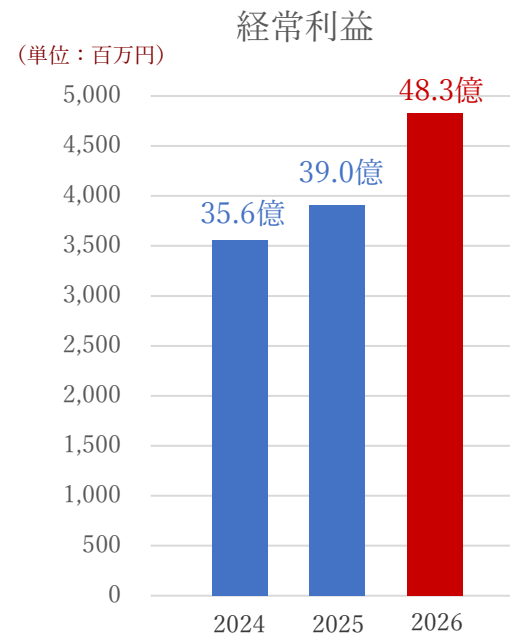
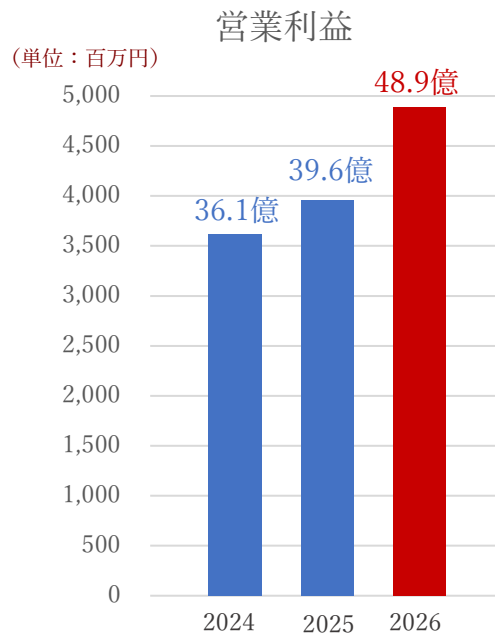
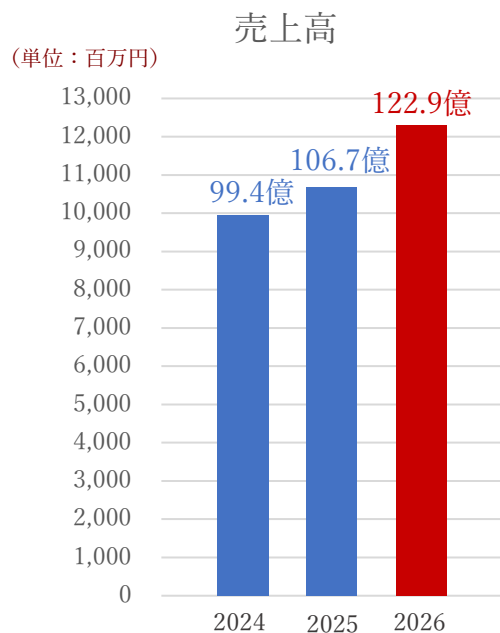
会社名	A B ホテル株式会社
代表者名	代表取締役社長 沓名 一樹
本社所在地	愛知県安城市三河安城町一丁目9番地2
資本金	953,920千円
設立日	2014年10月1日
決算期	3月決算
事業内容	ホテル事業
従業員数	103名（2026年3月末現在）
発行済株式総数	14,176,000株（2026年3月末現在）
株主数	2,358名（2026年3月末現在）
証券コード	6565
上場市場	名古屋証券取引所メイン

1979年 3月	東和建设株式会社（現 株式会社東祥）を設立し、土木建設請負業を始める
1999年11月	愛知県安城市にホテルサンルート三河安城（1号店）をフランチャイジーとして開業し、ホテル事業を開始
2005年 9月	ホテルサンルート三河安城をA Bホテル三河安城本館に名称変更し、愛知県安城市にA Bホテル三河安城新館（2号店）を出店、多店舗展開を開始
2007年12月	愛知県豊田市にA Bホテル豊田元町（4号店）を出店
2008年 3月	愛知県岡崎市にA Bホテル岡崎（5号店）を出店
2013年 6月	愛知県名古屋市にA Bホテル名古屋栄（6号店）を出店
2014年 6月	愛知県外初出店となる埼玉県深谷市にA Bホテル深谷（8号店）を出店
2014年10月	株式会社東祥から会社分割により、愛知県安城市にA Bホテル株式会社を設立（資本金100,000千円）
2015年 3月	第三者割当増資（資本金700,000千円）
2015年 4月	石川県初出店となる石川県金沢市にA Bホテル金沢（10号店）を出店
2016年 4月	群馬県初出店となる群馬県伊勢崎市にA Bホテル伊勢崎（12号店）を出店
2016年 7月	奈良県初出店となる奈良県奈良市にA Bホテル奈良（13号店）を出店
2016年 9月	愛知県安城市三河安城町一丁目9番地2に本社移転
2017年 4月	岐阜県初出店となる岐阜県岐阜市にA Bホテル岐阜（15号店）を出店
2017年 6月	静岡県初出店となる静岡県磐田市にA Bホテル磐田（16号店）を出店
2017年12月	東京証券取引所J A S D A Q（スタンダード）及び名古屋証券取引所市場第二部に上場 公募増資（資本金879,400千円）
2018年 1月	オーバーアロットメントに伴う第三者割当増資（資本金953,920千円）
2018年 5月	京都府初出店となる京都府京都市にA Bホテル京都四条堀川（19号店）を出店
2018年 9月	滋賀県初出店となる滋賀県近江八幡市にA Bホテル近江八幡（21号店）を出店
2018年12月	山口県初出店となる山口県宇部市にA Bホテル宇部新川（22号店）を出店
2019年 4月	福岡県初出店となる福岡県行橋市にA Bホテル行橋（24号店）を出店
2019年12月	大阪府初出店となる大阪府大阪市にA Bホテル大阪堺筋本町（26号店）、長野県初出店となる長野県塩尻市にA Bホテル塩尻（27号店）を出店
2020年 3月	東祥R E I T投資法人に既存3店舗を売却し建物賃貸借契約を締結
2020年 8月	大阪府堺市にABホテル堺東（28号店）を出店

2020年10月	滋賀県彦根市にABホテル彦根（29号店）を出店
2020年11月	岐阜県可児市にABホテル可児（30号店）、滋賀県湖南市にABホテル滋賀（31号店）を出店 総客室数4,000室を達成
2021年 4月	千葉県初出店となる千葉県木更津市にABホテル木更津（32号店）を出店
2022年 4月	愛知県安城市に安城市内 4 店舗目となるABホテル安城（33号店）を出店
2023年 8月	岐阜県関市にABホテル関（34号店）を出店
2024年 9月	三重県初出店となる三重県伊賀市にABホテル伊賀上野（35号店）を出店
2024年11月	岐阜県中津川市にABホテル中津川（36号店）を出店
2025年 9月	福井県初出店となる福井県越前市にABホテル越前武生（37号店）を出店
2026年 2月	愛知県犬山市にABホテル犬山（38号店）を出店
2026年 4月	現在、ABホテル38店舗を展開中

当社の主要顧客であるビジネスのお客様が堅調に推移し、尚且つインバウンド需要や国内の旅行需要が増加したことによって、単価が上昇し売上高、営業利益、経常利益ともに過去最高益を達成

売上高	12,293百万円	(前期比	1,614百万円増)
営業利益	4,892百万円	(前期比	929百万円増)
経常利益	4,830百万円	(前期比	921百万円増)



店舗数の増加による効果や原価低減の取り組みにより経常利益率が39.3%となった。

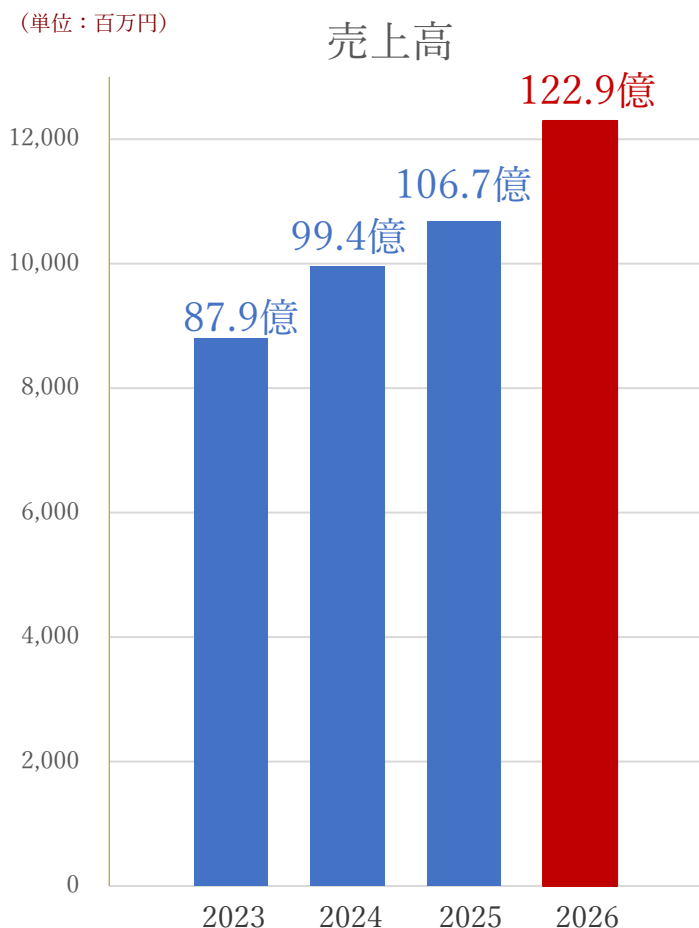
## 対前年数値

(単位：百万円)

	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)			2026年3月期 (2025年4月～2026年3月)			
	実績	売上比 (%)	前期比 (%)	実績	売上比 (%)	前期比 (%)	増減
売上高	10,679	100%	7.3%	12,293	100%	15.1%	1,614
売上総利益	4,625	43.3%	10.2%	5,637	45.9%	21.9%	1,011
販売費・一般管理費	663	6.2%	13.6%	744	6.1%	12.3%	81
営業利益	3,962	37.1%	9.7%	4,892	39.8%	23.5%	929
経常利益	3,908	36.6%	9.7%	4,830	39.3%	23.6%	921
当期純利益	2,542	23.8%	9.9%	3,143	25.6%	23.6%	601

前期オープンしたA Bホテル伊賀上野及びA Bホテル中津川が、売上や利益に貢献した。その他には、特に関西圏での宿泊需要が堅調に推移したことやインバウンド需要の高まりがあり、前期より単価を押し上げた結果、売上・利益ともに増加となった。

## 売上の変動要因



2026年3月期 38店舗 4,938室  
 前期 2025年3月期 既存34店舗稼働率 87.6%

**当期既存34店舗稼働率 84.7%**  
**(前期比 3.0%減)**

※四捨五入しております。

需要のバランスを見ながら、客室単価を調節し稼働率85%程度を目標に運営を行った。

店舗数の増加、堅調な需要により過去最高の売上高を記録

準既存店 2 店舗

- ・ A B ホテル伊賀上野 (2024年9月開業)
- ・ A B ホテル中津川 (2024年11月開業)

新店 2 店舗

- ・ A B ホテル越前武生 (2025年9月開業)
- ・ A B ホテル犬山 (2026年2月開業)

# 中期経営計画 〈2025年3月期～2027年3月期〉

## ～ NEXT STAGE 2027 ～

### 2025年3月期 計画

売上高	10,300百万円	(実績	10,679百万円	計画比3.7%増)
営業利益	3,690百万円	(実績	3,962百万円	計画比7.4%増)
経常利益	3,620百万円	(実績	3,908百万円	計画比8.0%増)

### 2026年3月期 計画 (修正後)

売上高	12,000百万円	(実績	12,293百万円	計画比2.4%増)
営業利益	4,690百万円	(実績	4,892百万円	計画比4.3%増)
経常利益	4,600百万円	(実績	4,830百万円	計画比5.0%増)

### 2027年3月期 修正計画 ※2026年5月8日に修正しております。

売上高	12,800百万円	(当初計画比	600百万円増	4.9%増)
営業利益	5,100百万円	(当初計画比	680百万円増	15.4%増)
経常利益	5,000百万円	(前期計画比	670百万円増	15.5%増)

## 2027年3月期予算

売上高	12,800百万円	(前期対比	507百万円増	4.1%増)
営業利益	5,100百万円	(前期対比	208百万円増	4.2%増)
経常利益	5,000百万円	(前期対比	170百万円増	3.5%増)

## 2027年3月期 配当予想

1株当たり配当金（予想） 29.00円

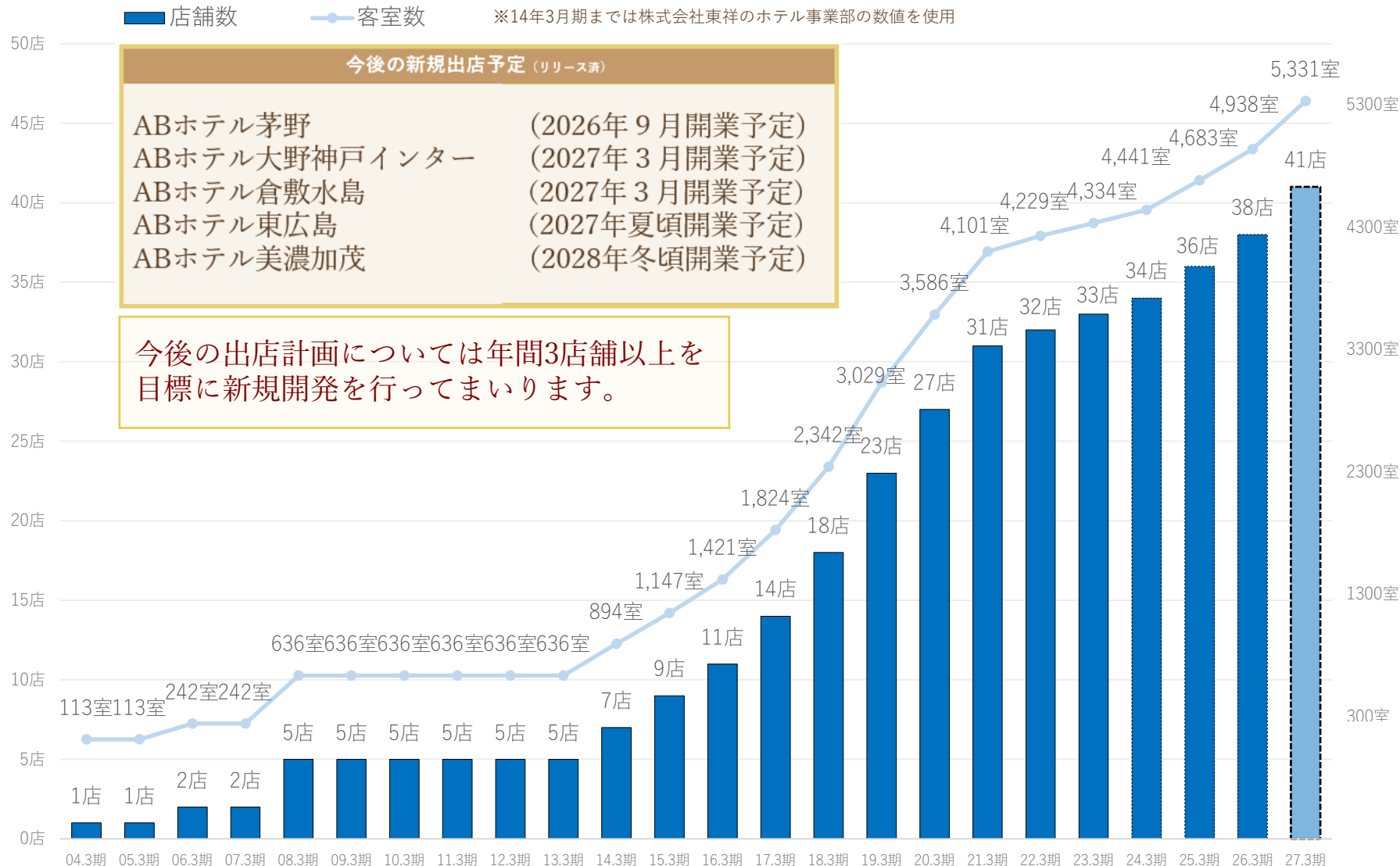
を予定しております。

※2026年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金24円 特別配当金10円（重複上場解消に伴う特別配当）

2027年3月期の業績見通しにつきましては、2026年3月期の実績に加え、インバウンド需要の推移やホテル事業の運営状況、コスト削減策の成果等を総合的に検討した結果、上記の通りといたしました。

(注) 上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

出店地域を絞らずに全国の駅前や主要インターチェンジ付近を中心に出新



## ・多様化する社会環境に対する対応



- ・館内バリアフリー化
- ・禁煙ルームの拡大
- ・消防避難訓練の実施（年2回）
- ・感染症対策
- ・帰宅避難者の受け入れを定める  
災害協定の締結

- ・従業員への積極的な運動促進
- ・有給取得の推進
- ・高齢者、障がい者の積極的雇用
- ・禁煙対策
- ・育休、産休制度導入
- ・女性管理職登用



- ・E C Oプラン
- ・従業員のE V使用削減
- ・プラスチックの削減

- ・館内照明のL E D
- ・ソーラーパネルの設置
- ・客室内省エネスイッチの設置
- ・個別空調の導入
- ・ごみの分別
- ・公園緑地の提供

- ・フロントレスでスピーディーなチェックイン機の導入



- ・スピーディーで快適なQRコードを使用した自動チェックイン機の導入をABホテル三河安城新館で試験的に実施しております。今後店舗を拡大し、お客様満足度を高めてまいります。

- ・ ネット予約でお客様1人1人に合った選択式のお部屋を提供



- ・ お客様が布団や枕、アメニティなどお客様ご自身の好みに合った付属品を選んでいただくプランを準備中。お客様に選ぶ楽しさ、お客様自身でオリジナルで落ち着く空間を作り、リピーターの確保を目指していく。

- ・新サービス（レベニューマネジメントノウハウ）の販売



- ・当社独自のノウハウを生かして宿泊者向けのレベニューマネジメントシステムを他の宿泊業者に販売を開始いたします。

## 経営理念

健康になるホテルをつくり、世のため人のために尽くす

*Amenity Bright*

Amenity Bright「快適に心地よく、明るく輝く」をコンセプトに  
お客様が心休まる快適な空間、サービスのご提供を追求いたします。

- ・この資料は投資家の皆様の参考に資するため、A Bホテル株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- ・当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

### I Rに関するお問い合わせ先

〒446-0056 愛知県安城市三河安城町一丁目9番地2

A Bホテル株式会社 管理本部 担当：大出（オオデ）

T E L : 0566-79-3013 F A X : 0566-79-3014

M a i l : ir@ab-hotel.jp

ホームページ : <https://www.ab-hotel.jp/>

コーポレートサイト : <https://www.ab-hotel.jp/company/>